



「笑顔とつながり」

永田台

No.551 11月号
横浜市立永田台小学校
TEL(714)4277
令和3年11月4日



進んであいさつ
笑顔あふれる
住みよいまちに

「永田台小運動会 ベストスマイル2021 ～永田台のキズナ～」

副校長 奥山 雅彦

コロナ禍の中、本年度の永田台小学校の運動会は、約ひと月延期して10月30日（土）の実施となりました。これまでに、安心・安全に実施できる開催方法と発表内容を、体育部の綿密な提案をもとに、全職員で何度も話し合いをしてきました。感染症拡大予防のために行わなければならないことは何か。どのような発表ならできるのか。保護者の皆様には、どのレベルまで参観していただくことができるのか。児童の参加・観戦の仕方はなど、実施に向けての検討内容と課題は山積みでした。そして、繰り返し話し合った結果、今回のような3ブロックに分けての実施となりました。いかがでしたでしょうか。

本年度は、4月の入学式、始業式と通常の学校生活をスタートすることができました。しかし、東京都を中心に感染者が急増し、6月17日（木）から始まった、「蔓延防止等重点措置」は繰り返し延長されましたが、感染者を抑えることはできず、続いて迎えた「緊急事態宣言」で教育活動は制限を受け、永田台小では水泳学習や宿泊体験活動、修学旅行などは実施できなくなりました。また、新型コロナウイルス感染拡大防止のための昨年からの対策と活動制限により、児童は十分に運動ができていないため運動不足であり、基礎体力が著しく低下していました。

強烈な残暑が続いた9月を分散登校で何とか乗り切り、10月に入ってから短い時間での練習。10月の前半は、厳しい暑さの中での活動になったため、「安心・安全を第一にする。」「児童の健康状況をしっかり把握する。」を合言葉に取り組んできました。前半は体育館や教室での練習が目立ち、私も途中経過が気になり何度か足を運んでは、その上達とボルテージが上がってくる様子から本番を楽しみにしてきました。本番までの様子を振り返ってみます。

低学年はリズムダンスになり、可愛らしさ一杯に練習に取り組んでいました。先生のお手本映像をしっかりと見ながら、あっという間に動きをマスターして、練習を繰り返していくうちに、ピッカピカの動きに、キラキラの笑顔が輝いていました。中学年の今年の演目は「☆ナガタダイナマイト☆」。練習に集中して取り組み、鳴子を打ちながら、繰り返し練習する中で表情にも自信が溢れ、音がそろっていく様子に目を見張りました。そして高学年。今年も、伝統の「ソーラン節」をそれぞれの学年で練習しました。前半はおとなし目な様子でしたが、さすがは高学年。運動場、体育館で見せる迫力ある動きと、全力で踊りながらの「ソーラン！ソーラン！」の響き渡る声。正に高学年のダイナミックさと美しさの演技です。最後に圧巻だったのは、全学年を代表しての「高学年リレー」と応援団です。特別朝練を通して繋がったバトンとチームワーク。練習を見守る登校中の児童も息を呑んでの応援です。そして、体育館に響く応援団の大きな声援と太鼓の音。それらの頑張りからは、“高学年の自分達が運動会を創るんだ。”という一人一人の思いが伝わってきました。

今年度の「永田台小 運動会」でも、安心・安全での開催に向けて、いろいろとお願いし、ご協力いただき、ありがとうございました。本番での子ども達の生き生きした動きと表情から子ども達の成長の様子と、コロナに負けない頑張りの様子をご覧いただけたことと思います。一人一人が全力を尽くした「第48回 永田台小運動会」だったと思います。

最後にアンケートへのご協力にも感謝申し上げます。来年度に活かしていけるようにします。